スマホトラブル防げ！

菊池高に公認クラブ

賢い使い方伝授／校内の「相談窓口」

菊池高（菊池市）の生徒が19日、スマートフォンなどインターネットを介したトラブルの防止に取り組むため、学校公認のクラブ活動「スマートアクティ部」を発足させた。ネット被害の防止に特化した公認クラブが発足するのは、全国でも例がないという。

県内の各高校で情報モラル教育の講話を続ける活動としての啓発を提案。菊池高の生徒有志が県教委と県警が、クラブ手を挙げた。

活動ではスマートフォンの賢い使い方をほかの生徒に発信するほか、校内の相談窓口となってトラブル防止に一役買う。県警もネット犯罪を巡る最新の情報を提供し、活動をサポートしていく。

この日は菊池高で発足式があり、部員8人を代表して2年の木村百伽（ももか）さんが「スマホを正しく使うには深く知ることが必要。犯罪やトラブルに遭わないようクラブを通して伝えていきたい」と宣誓。20日の終業式には、個人が特定できる情報の書き込みをしないなど、夏休みの注意事項をまとめたチラシを全生徒に配る。

県教委は「ネットを介した児童生徒のトラブルを大人が把握するのは困難。実情により詳しい生徒自身が啓発や相談に乗り出すことで、被害を未然に防いでほしい」と期待している。

（福井一基）

「スマートアクティ部」の部長として宣誓する菊池高2年の木村百伽さん＝19日、菊池市

まれた18歳未満の子どもは２０１６年、全国で１７３６人。統計を取り始めた08年以降、最多を更新した。県内は17年1～6月で17人。12年には15人に上った出会い系サイトはゼロだった。

「自撮り」画像をメールで送らせる手口が横行しているほか、自分の性器の画像を投稿した児童買春・ポルノ禁

裸投稿や援助

目立つ 安

々の隠語が並んでいる。

県警少年課の竹口光二郎次席は「コミュニティーサイトは気軽に知り合えるだけに、知らないうちに犯罪に巻き込まれる真面目な子も多い。被害を人ごとと思わず、家族でネット利用のルールなどを確認してほしい」と訴えている。

（福井一基）

芥川賞に沼田

直木賞は佐藤正

第157回芥川賞、直木賞（日本文学振興会主催）の選考会が19日、東京・築地の料亭「新喜楽」で開かれ、

芥川賞は沼田（38）の「影裏（えいり）界5月号）に は佐藤正午さ「月の満ち欠波書店）にそ まった。

記者会見し んは緊張し「本当に光栄 だ1作しか書 いので、頑張 自宅のある長 保市から電話

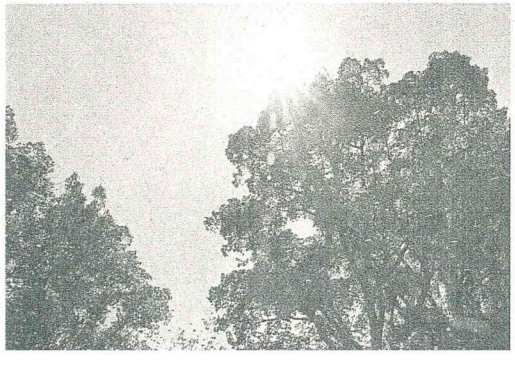
獣医学部 四

山本担当相「加計

政府の国家戦略特区制度を活用した獣医学部新設計画を巡り、学校法人「加計学園」（岡山市）が事業者に認定される約2カ月前の昨年11月17日、特区担当の山本幸三地方創生担当相から「四国で新設することになった」と伝えられたと、日本獣医師会関係者が19日、明らかにした。

【2面参照】

事実であれ 県今治市で四 医学系大学の 定する加計学 に計画が進め とになり、24 閉会中審査で なりそうだ。 事務所は共同 材に「四国で は言っていな もあり得ると した」と否定 獣医師会関

大阪市内の公園で水遊びする子ども＝19日午後

中国・四国など